

子どもを育てる「3つのあったかハート」と「10のとびら」

子どもとふれあう あったかハート

1 スキンシップでパワーアップ



だっこ、おんぶ、手遊び、体操、うてずもろ...

乳幼児期のスキンシップは、心の安定、体の成長を促します。ちょっとした動きかけて、子どもの元気がアップします。

2 あいさつは、まず家庭から



あいさつをされると、みんなの中で生きている自分に気づきます。あいさつは家族の絆を深めます。

3 目で聞く、目で話す



きょう、どうだった？

楽しかったこと、いやだったこと...。話をまるごと聞いてもらうことで心が落ち着き、自分をふり返ることもできます。

4 「読み聞かせ」は心の栄養



読み聞かせや読書を毎日の生活の中へ

「読み聞かせ」は読み手と聞き手の心をつ結び、子どもの心を育てます。言葉を覚え、本好きな子どもになります。

<子どもの生きる自信>

やさしさ おもいやり 心の安定...

「愛情」が伝わっていますか？

愛情とは子どもを大切に思う気持ち。子どもは親に愛されることで、「生まれてきてよかった」と生きる自信を得ていきます。楽しい、悲しいなどいろいろな感情を受け入れてもらうことで、自分の感情をコントロールしたり、自分以外の人の感情を理解したりできるようになります。

子どもを見守る あったかハート

5 「プラスの目」で見る

例) つみ木を3つ積んだらこわれちゃった。あなたはどっち？

A 「プラスの目」

2つできたね
3つ目にも挑戦したね



B 「マイナスの目」

3つ積むこともできないの

他の子と比べず、
①今できることを認める
②その子自身の伸びを見つける
ことが、「やる気」や「意欲」へつながります。

6 やってみたい！これが「遊び」

ひとりで



仲間て



自然の中で



自分からやりたいと思うことが本当の遊び。子どもは遊びながら育つ力をもっています。

7 「失敗」も宝物に

例) 子どもが、お皿を割っちゃった。あなたはどっち？

A

けがはない？
気をつけて



B

何やってんのしょうがない子

こんどは気をつけよう

ポクはダメだなあ

子どもの毎日は失敗の連続。でも、その一つが成長のチャンスです。

<子どもの生きる力>

やる気 社会性 責任感...

「遊び」を大切にしていますか？

子どもは、大人から見れば「危ないこと」「きたくないこと」「うるさいこと」が大好き。そんな中で五感を総動員して活動したり、危険を知ったり、達成感を得たり、責任を感じたり、人や自然との出会いがあったり...。生きる力や心の豊かさは、そんな「遊びの世界」で育つものです。

子どもに伝える あったかハート

8 お手本は大人

ゴミはゴミ箱へ

はきものをそろえる

ゴミが落ちていないと気持ちいいね



大人から、ゴミ・たばこの投げ捨てをなくしましょう

子どもは親や大人のすること(生き方)を見ています。身近なことから子どもと一緒に始めましょう！

9 「いいこと」と「悪いこと」

いいねえ！
うれしいなあ...



だめだよ！
こまるなあ...



「いい子」「悪い子」と決めつけず、その子のしたこと(行為)を、「いいこと」「悪いこと」として伝えることが大事です。

10 「魔法の言葉」はなんだっけ？

こんなとき、なんて言うの？

何がしてもらったら



ありがとう

めいわくをあげたら

ごめんなさい

たのむときは

おねがいします

「ありがとう」「ごめんなさい」「おねがいします」は、人間関係をつくる「魔法の言葉」です。

<子どもの生きる技>

マナー 公共心 礼儀...

「しつけ」ってなんだっけ？

しつけ(躾)とは、礼儀作法やよい習慣を身につけさせること。身を美しくという意味が込められています。「身につけていると困らないよ。いいことだよ。」というやさしい心で大人が手本を示し、子どもが行動の仕方を身につけることがしつけです。親の思いどおりにしようとしていたり、感情的に当たるのはしつけとは違います。